

世界セレクトティブ株式 オープン (年2回決算型)

運用報告書（全体版） 第6期

（決算日 2022年10月25日）
（作成対象期間 2022年4月26日～2022年10月25日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2020年2月3日～2024年4月25日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。各計算期末における収益分配前の基準価額（1万円当り）が10,000円超の場合、10,000円を超える額をめぐに分配金額を決定します。なお、計算期末に向けて基準価額が大きく上昇した場合など基準価額の動向等によっては、実際の分配額がこれと異なる場合があります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を除く世界の金融商品取引所上場株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			M S C I コクサイ指数 (税引後配当込み、円換算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 券 率 組 入 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
2 期末(2020年10月26日)	9,863	0	12.6	10,171	20.4	—	97.9	18,189
3 期末(2021年 4 月26日)	10,114	900	11.7	12,840	26.2	—	99.0	24,661
4 期末(2021年10月25日)	10,347	410	6.4	14,651	14.1	—	99.1	26,502
5 期末(2022年 4 月25日)	10,002	290	△ 0.5	15,363	4.9	—	99.1	22,376
6 期末(2022年10月25日)	10,100	0	1.0	15,527	1.1	—	99.2	18,660

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) M S C I コクサイ指数（税引後配当込み、円換算）は、M S C I Inc.（「M S C I」）の承諾を得て、M S C I コクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。M S C I コクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、M S C I が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C I に帰属します。またM S C I は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、M S C I によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、M S C I は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

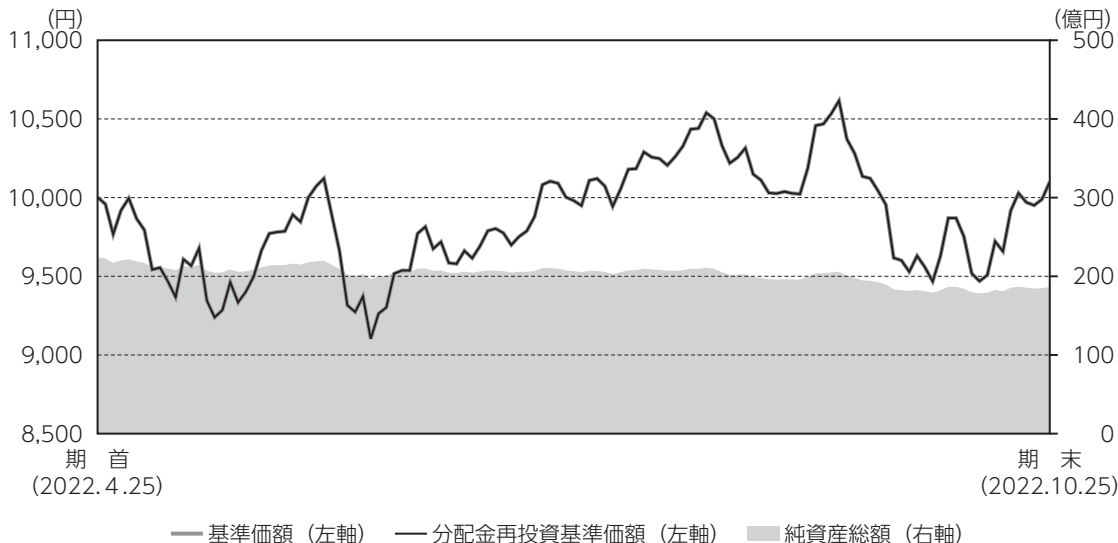
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：10,002円

期末：10,100円（分配金0円）

騰落率：1.0%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

世界的なインフレ圧力の高進や金融政策運営に対する警戒感から海外先進国株式市況は下落したものの、為替相場が円安が進んだことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		M S C I コクサイ 指数 (税引後配当込み、円換算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率 組 入 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2022年 4 月25日	円 10,002	% －	15,363	% －	% －	% 99.1
4 月末	9,919	△0.8	14,970	△2.6	－	99.0
5 月末	9,772	△2.3	14,939	△2.8	－	99.4
6 月末	9,719	△2.8	14,584	△5.1	－	99.1
7 月末	10,121	1.2	15,134	△1.5	－	99.3
8 月末	10,030	0.3	15,239	△0.8	－	99.4
9 月末	9,558	△4.4	14,474	△5.8	－	99.4
(期末) 2022年10月25日	10,100	1.0	15,527	1.1	－	99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022.4.26～2022.10.25)

■海外先進国株式市況

海外先進国株式市況は下落しました（米ドルベース）。

海外先進国株式市場は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締め懸念で米国金利が上昇したことや、ロシアによるウクライナ侵攻で地政学リスクが顕在化したことを受け、2022年6月末にかけて下落しました。8月半ばにかけては、悪材料出尽くし観測が広まったことや、インフレ率がピークアウトするとの期待感などもあり、上昇しました。しかしその後は、F R B議長が積極的なインフレ抑制姿勢を強調したことや英国の財政悪化懸念から英国債が急落するなど、投資家心理の悪化から、当作成期末にかけて株価は反落しました。

■為替相場

米ドル円為替相場は上昇（円安）しました。

当作成期首より、米国で大幅な利上げが行われ日米金利格差の拡大が意識されたことで、2022年8月末にかけて米ドルは上昇基調で推移しました。その後は、F R B（米国連邦準備制度理事会）が大幅な金融引き締めを決定したのに対し、日銀は金融緩和政策の維持を決定したことで、金融政策の方向性の相違が明確となり、当作成期末にかけて米ドルは対円でさらに上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

MF Gグローバル株式ファンドとダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、MF Gグローバル株式ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

※MF Gグローバル株式ファンド：アンカーMF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■MF Gグローバル株式ファンド

社会に変革をもたらすような中長期の投資テーマを発掘すると同時に、市場の大幅な下落につながる可能性のあるイベント・リスクを把握する「トップダウン分析」と、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる高クオリティ企業を厳選する「ボトムアップ分析」とを効果的に融合し、ポートフォリオを構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2022.4.26～2022.10.25)

■当ファンド

当ファンドは、MF Gグローバル株式ファンドとダイワ・マネー・マザーファンドを投資対象ファンドとするファンド・オブ・ファンズです。当作成期の運用にあたっては、MF Gグローバル株式ファンドの投資比率を高位に維持しました。

■MF Gグローバル株式ファンド

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。保有する銘柄の多くは、企業の生産性向上支援やキャッシュレス社会への移行など社会のデジタル化の進展、生活に必要な商品やサービスの提供における価格決定力、あるいはポスト・パンデミックの経済回復と正常化などからの恩恵を受ける企業群であると考え、投資しました。

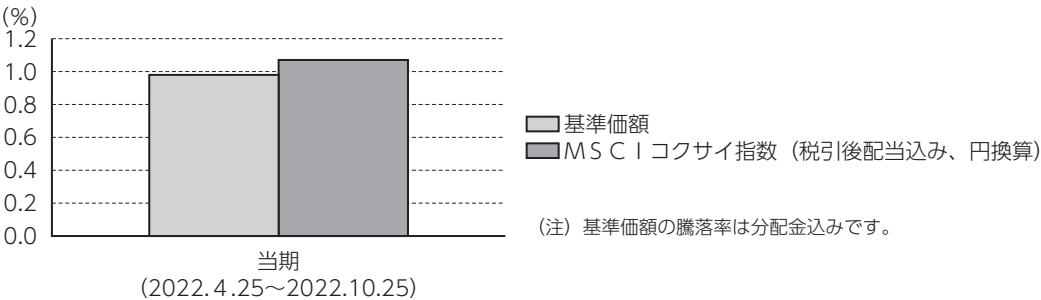
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数は海外先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2022年4月26日 ～2022年10月25日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	592

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

MF Gグローバル株式ファンドとダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、MF Gグローバル株式ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■MF Gグローバル株式ファンド

社会に変革をもたらすような中長期の投資テーマを発掘すると同時に、市場の大幅な下落につながる可能性のあるイベント・リスクを把握する「トップダウン分析」と、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる高クオリティ企業を厳選する「ボトムアップ分析」とを効果的に融合し、ポートフォリオを構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2022.4.26~2022.10.25)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	56円	0.565%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,864円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0.386)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	56	0.569	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

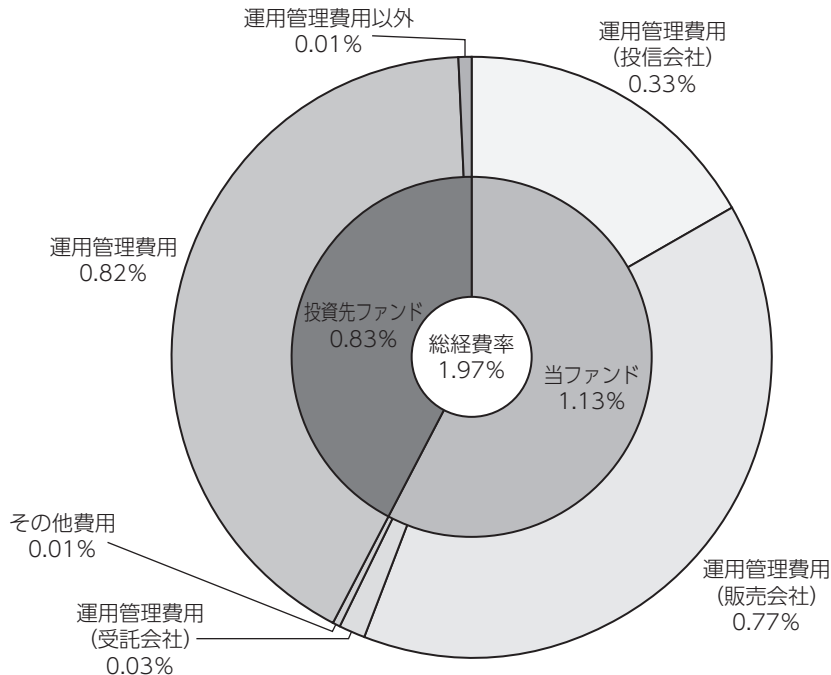
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.97%です。



総経費率（①+②+③）	1.97%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.82%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2022年4月26日から2022年10月25日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
国	アンカーMFGグローバル株式ファンド				
内	(為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	－	－	2,827,349.57	3,935,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券	千口	千円	%
アンカーMFGグローバル株式ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	13,075,237.006	18,507,997	99.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0	0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年10月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	18,507,997	97.9
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	395,440	2.1
投資信託財産総額	18,903,439	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年10月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	18,903,439,400円
コール・ローン等	295,440,420
投資信託受益証券(評価額)	18,507,997,981
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	999
未収入金	100,000,000
(B) 負債	242,900,314
未払解約金	127,214,245
未払信託報酬	114,845,828
その他未払費用	840,241
(C) 純資産総額(A－B)	18,660,539,086
元本	18,475,387,419
次期繰越損益金	185,151,667
(D) 受益権総口数	18,475,387,419口
1万口当り基準価額(C／D)	10,100円

* 期首における元本額は22,371,889,719円、当作成期間中における追加設定元本額は508,662,781円、同解約元本額は4,405,165,081円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,100円です。

■損益の状況

当期 自2022年4月26日 至2022年10月25日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 31,411円
受取利息	2,718
支払利息	△ 34,129
(B) 有価証券売買損益	308,209,062
売買益	404,087,632
売買損	△ 95,878,570
(C) 信託報酬等	△115,686,069
(D) 当期損益金(A + B + C)	192,491,582
(E) 前期繰越損益金	621,005,117
(F) 追加信託差損益金	△628,345,032
(配当等相当額)	(280,391,436)
(売買損益相当額)	(△908,736,468)
(G) 合計(D + E + F)	185,151,667
次期繰越損益金(G)	185,151,667
追加信託差損益金	△628,345,032
(配当等相当額)	(280,391,436)
(売買損益相当額)	(△908,736,468)
分配準備積立金	813,528,110
繰越損益金	△ 31,411

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	98,372,455
(c) 収益調整金	280,391,436
(d) 分配準備積立金	715,155,655
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,093,919,546
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,093,919,546
(h) 受益権総口数	18,475,387,419口

＜補足情報＞

当ファンド（世界セレクトティブ株式オープン（年２回決算型））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2021年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2022年10月25日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2022年4月26日～2022年10月25日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2022年10月25日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第17期（決算日 2021年12月9日）

（作成対象期間 2020年12月10日～2021年12月9日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

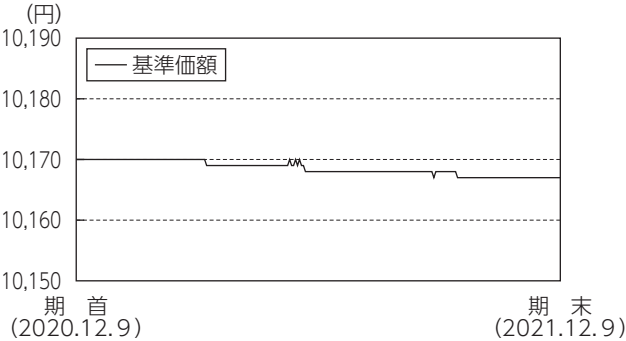
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
円 %	円 %	円 %	円 %
(期首)2020年12月9日	10,170	—	—
12月末	10,170	0.0	—
2021年 1 月末	10,170	0.0	—
2 月末	10,170	0.0	—
3 月末	10,169	△0.0	—
4 月末	10,169	△0.0	—
5 月末	10,169	△0.0	—
6 月末	10,168	△0.0	—
7 月末	10,168	△0.0	—
8 月末	10,168	△0.0	—
9 月末	10,167	△0.0	—
10月末	10,167	△0.0	—
11月末	10,167	△0.0	—
(期末)2021年12月9日	10,167	△0.0	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：10,170円 期末：10,167円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】
コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆ 投資環境について

○ 国内短期金融市況
当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。
◆ ポートフォリオについて
流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。
◆ ベンチマークとの差異について
当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

その他有価証券

(2020年12月10日から2021年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国	内	千円	千円
国内短期社債等		110,997,998	111,997,992 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■ 組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	6,782,301	100.0
投資信託財産総額	6,782,301	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,782,301,285円
コール・ローン等	6,782,301,285
(B) 負債	－
(C) 純資産総額(A－B)	6,782,301,285
元本	6,671,046,264
次期繰越損益金	111,255,021
(D) 受益権総口数	6,671,046,264口
1万口当り基準価額(C／D)	10,167円

* 期首における元本額は66,337,383,629円、当作成期間中における追加設定元本額は24,638,372,125円、同解約元本額は84,304,709,490円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ日経225－シフト11－	2019－03 (適格機関投資家専用)	531,632,690円
ゴールド・ファンド (FOFs用)	(適格機関投資家専用)	1,965,311,641円
ターゲット・リターン (コスト控除後3%)	資金拠出用ファンド (適格機関投資家専用)	129,833円
ターゲット・リターン (コスト控除後5%)	資金拠出用ファンド (適格機関投資家専用)	160,914円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド	－A1新時代－ (為替ヘッジあり)	977,694円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド	－A1新時代－ (為替ヘッジなし)	977,694円
ダイワFEGグローバル・バリュー	(為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワFEGグローバル・バリュー	(為替ヘッジなし)	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド	(為替ヘッジあり)	49,107円
NWQグローバル厳選証券ファンド	(為替ヘッジなし)	49,107円
ダイワ／“RICI” [®] コモディティ・ファンド		2,074,249円
US債券NB戦略ファンド	(為替ヘッジあり／年1回決算型)	1,676円
US債券NB戦略ファンド	(為替ヘッジなし／年1回決算型)	1,330円
NWQグローバル厳選証券ファンド	(為替ヘッジあり／隔月分配型)	180,729円
NWQグローバル厳選証券ファンド	(為替ヘッジなし／隔月分配型)	737,649円
NWQグローバル厳選証券ファンド	(為替ヘッジあり／資産成長型)	95,276円
NWQグローバル厳選証券ファンド	(為替ヘッジなし／資産成長型)	337,885円
世界セレクトティブ株式オープン		983円
世界セレクトティブ株式オープン	(年2回決算型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド	(為替ヘッジあり／毎月分配型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド	(為替ヘッジなし／毎月分配型)	983円
DCダイワ・マネー・ポートフォリオ		4,082,297,237円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)	－トリプルリターンズ－ 日本円・コース (毎月分配型)	132,757円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)	－トリプルリターンズ－ 豪ドル・コース (毎月分配型)	52,987円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)	－トリプルリターンズ－ ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	467,315円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)	－トリプルリターンズ－ 米ドル・コース (毎月分配型)	12,784円
ダイワ／フィデリティ北米株ファンド	－パラダイムシフト－	1,988,495円
ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)		3,666円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型)	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	155,317円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型)	日本円・コース (毎月分配型)	38,024円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型)	米ドル・コース (毎月分配型)	4,380円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型)	豪ドル・コース (毎月分配型)	22,592円
ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ		80,587,771円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース)		33,689円

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)	96,254円	
ダイワ・インフラビジネス・ファンド	－インフラ革命－ (為替ヘッジあり)	5,385円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド	－インフラ革命－ (為替ヘッジなし)	11,530円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型)	米ドルコース	9,817円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型)	日本円コース	6,964円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型)	通貨αコース	9,479円
ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型)		98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド		98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ		979,761円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型)	南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	1,097円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型)	トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	2,690円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型)	通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,350円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型)	株式αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型)	通貨αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型)	株式&通貨ツインαコース	982,029円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)	－トリプルリターンズ－ 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	9,652円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,167円です。

■損益の状況

当期 自2020年12月10日 至2021年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,353,364円
受取利息	34,938
支払利息	△ 6,388,302
(B) その他費用	△ 30,929
(C) 当期損益金(A+B)	△ 6,384,293
(D) 前期繰越損益金	1,128,566,954
(E) 解約差損益金	△1,428,973,017
(F) 追加信託差損益金	418,045,377
(G) 合計(C+D+E+F)	111,255,021
次期繰越損益金(G)	111,255,021

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類 信託期間		追加型信託／海外／株式 無期限
運用方針		アンカーMFGグローバル株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用 対象	アンカーMFGグローバル株式ファンド(為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド受益証券
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。
マザーファンドの運用方法		1. 徹底したリサーチを通じて選別した持続的な優位性を持つ高クオリティ企業の株式等に中長期に投資することで、一つの経済サイクルを通して年率10%以上のリターン獲得を目指します。 2. ポートフォリオの市場感応度を一定程度以下に調節することで値下りリスクの抑制に努めます。 3. ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対する集中投資を行います。投資銘柄数は、原則として20銘柄以上、40銘柄以下とします。 4. 投資対象とする株式等は、取得時において、原則として時価総額250億ドル以上の銘柄とします。ただし、原則として原油や天然資源などの商品市況に影響される銘柄は除きます。 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 6. 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 7. マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	アンカーMFGグローバル株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	1. アンカーMFGグローバル株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券への投資割合には制限を設けません。 2. 株式等※への直接投資は、原則として行いません。 ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。以下同じ。 3. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 4. 新興国企業が発行する株式への実質投資割合は、原則として20%以内とします。 5. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する実質投資割合は、原則として30%以内とします。 6. 一銘柄あたりの実質投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の実質投資割合は、原則として40%以内とします。 7. 実質キャッシュ比率は、原則として20%以内とします。 8. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 9. デリバティブ取引は、原則として行いません。
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	1. 株式等への投資割合には制限を設けません。 2. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 新興国企業が発行する株式への投資割合は、原則として20%以内とします。 4. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する投資割合は、原則として30%以内とします。 5. ポートフォリオでの投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の投資割合は、原則として40%以内とします。 6. キャッシュ保有比率は、原則として20%以内とします。 7. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 8. デリバティブ取引は、原則として行いません。
分配方針		収益分配金額は、分配対象額の範囲（経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含む）等の全額）内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。但し、必ず分配を行うものではありません。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーフンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

アンカーMFGグローバル
株式ファンド
(為替ヘッジなし)
(適格機関投資家専用)

運用報告書（全体版）
第3期（決算日 2022年4月1日）

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、去る2022年4月1日に第3期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



運用報告書に関するお問い合わせ先
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社
業務部
〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10
アークヒルズ 仙石山森タワー
電話番号：03-5575-5780
受付時間：営業日の午前9時～午後5時
ホームページ：www.northerntrust.jp/

<<アンカーMFG グローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）>>

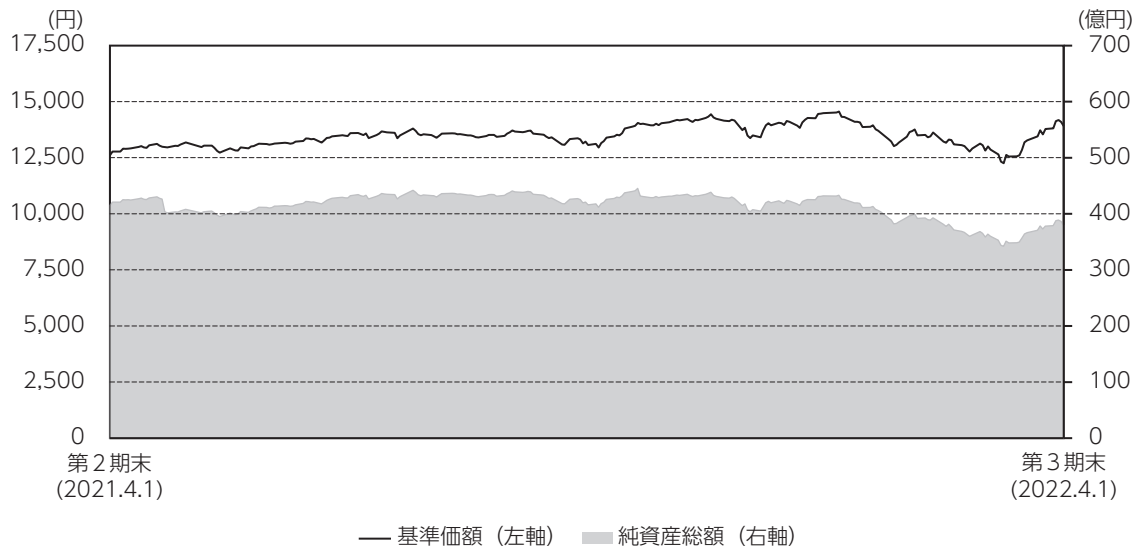
設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総 額
		税 込 分配金	期 中 騰落率		期 中 騰落率			
(設 定 日) (2019年4月18日)	円 10,000	円 －	% －	10,000	% －	% －	% －	百万円 746
1 期 (2020年4月1日)	9,436	0	△5.6	8,344	△16.6	79.1	3.7	6,228
2 期 (2021年4月1日)	12,607	0	33.6	13,355	60.0	90.5	3.8	41,518
3 期 (2022年4月1日)	13,908	0	10.3	16,408	22.9	88.2	3.5	37,944

(注) 参考指数としてMSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース、2019年4月18日を10,000とする。）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期 首：12,607円
期 末：13,908円
騰落率：+10.3%

■組入ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	11.2%

■基準価額の主な変動要因

株式および為替がともにプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。株式では、情報技術、生活必需品、金融セクターでの保有銘柄が大きく値上がりしたことがプラス要因となりました。米ドル円相場も円安米ドル高となりプラス寄与しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2021年4月1日	円	%		%	%	%
	12,607	—	13,355	—	90.5	3.8
4月末	13,181	4.6	13,913	4.2	91.0	3.9
5月末	13,115	4.0	14,117	5.7	91.4	4.0
6月末	13,483	6.9	14,470	8.4	90.6	3.5
7月末	13,544	7.4	14,675	9.9	90.5	3.4
8月末	13,576	7.7	15,033	12.6	90.8	3.4
9月末	13,216	4.8	14,681	9.9	90.8	3.3
10月末	14,038	11.4	15,753	18.0	91.8	3.2
11月末	13,841	9.8	15,680	17.4	91.2	3.4
12月末	14,492	15.0	16,324	22.2	88.5	3.6
2022年1月末	13,442	6.6	15,180	13.7	86.7	3.4
2月末	13,133	4.2	15,086	13.0	87.6	3.2
3月末	14,096	11.8	16,677	24.9	87.9	3.5
(期 末) 2022年4月1日	13,908	10.3	16,408	22.9	88.2	3.5

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

○世界株式市況

当期の先進国株式市場は、期首と比べて上昇しました。期初、新型コロナワクチン接種の進展や良好な米経済指標の発表を受けた景気回復期待の強まりから急伸して始まり、その後夏場にかけて、インフレや金融政策に対する楽観的な見方、良好な企業決算発表などを背景に、続伸する展開となりました。9月に入ると低調な米経済指標を受けた景気鈍化懸念や中国恒大集団の信用懸念、金利上昇などを嫌気して下落したものの、米債務上限を巡る協議の進展やパウエル連邦準備制度理事会（F R B）議長のハト派発言などを受けて下げを取り戻し、一段高となりました。その後年末にかけては、もみ合いとなる中、新型コロナ変異種（オミクロン株）の低重症化リスクに関する報告などを好感し、当期の高値まで上昇しました。年明け以降、F R Bによる金融引き締め前倒し観測の強まりから急落するなど軟調な展開となり、低調な企業決算や約40年ぶりとなる大幅な物価指数の上昇、ロシアのウクライナ侵攻などを受けて、当期の安値圏まで下げ足を早めました。その後、パウエルF R B議長が景気見通しに対する楽観的な見方を示したことや、ロシアとウクライナ間での停戦交渉の進展への期待感などから、期末にかけて大きく値を戻しました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、期首と比べて大幅な円安米ドル高となりました。期初から期央にかけては、強弱両様の米経済指標や金融当局の政策スタンスに対する思惑、新型コロナ変異種の感染拡大動向などを背景に、方向感が定まらず、ボックス圏で推移しました。期央からは、中国恒大集団の債務不安の一巡、堅調な株式・商品市場動向や金利上昇などを材料に、米ドルが買われ、徐々に下値を切り上げました。年明け以降も、米国でのインフレ懸念や金融引き締め観測の強まりなどから円安米ドル高基調で推移するなか、F R Bによる利上げ実施に伴い日米の金融政策の方向感の違いが鮮明となり、日米金利差拡大見通しが強まったことを受けて、米ドルがほぼ一方向的に買い進まれる展開となりました。

前期における「今後の運用方針」

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行います。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行いました。

○アンカーMFGグローバル株式マザーファンド

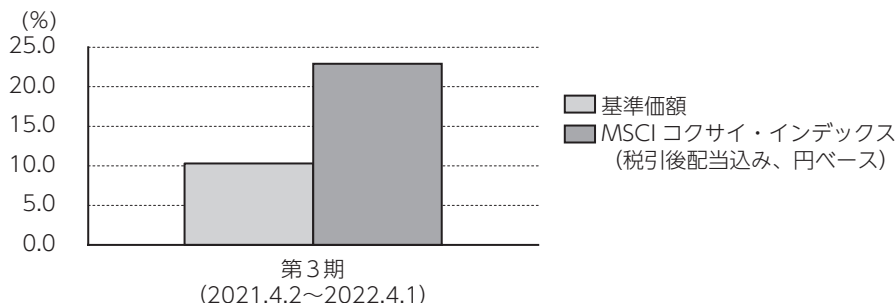
ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。

当期については、ワクチンの普及に伴う経済再開や、金融当局の財政・金融政策での巧みな舵取り等により、市場の上昇基調が続くメインシナリオ、インフレの高進や、ワクチンが効きづらい変異種の拡大、相場の過熱感等により、市場が大幅に調整するリスクシナリオを想定し、両シナリオを考慮した運用を行いました。こうした見方を背景に、期初にはポートフォリオ・ベータを高めとすることで市場上昇に極力追随することを目指しました。しかし、終盤にはロシアのウクライナ侵攻を受けた商品価格の大幅上昇等を背景に、インフレ懸念が強まり、また、前倒し観測が浮上するなど金融引き締め策が加速するとの見方から、市場の不確実性や変動性が高まりました。このため、株式組入銘柄の入れ替えやキャッシュ比率の調整により、ポートフォリオ・ベータを引き下げ、ディフェンシブ性を高めました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。参考指数は先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期は、運用財産の成長を目指すファンドの基本方針に鑑みて、配当を行うのではなく再投資に振り向けることにより信託財産の一層の成長を目指すこととし、収益分配を見送らせて頂きました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させて頂きます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2021年4月2日 ～2022年4月1日	
当期分配金（税込）（円）	0	
対基準価額比率（％）	－	
当期の収益（円）	－	
当期の収益以外（円）	－	
翌期繰越分配対象額（円）	3,908	

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込）の期末基準価額（分配金込）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。

○アンカーMFGグローバル株式マザーファンド

インフレ懸念の強まりを受けた中央銀行による金融引き締め策の加速化観測などから、株式市場の不確実性が高まっており、ロシアによるウクライナ侵攻は、そうした状況をさらに悪化させるとみています。また、金融政策の転換は、経済成長を減速させ、最終的には企業の利益成長を低下させるリスク、経済や企業利益見通しの不確実性を高め、市場の変動性が高まるリスクを伴います。こうしたことから、これまで株式市場が実現してきた良好なパフォーマンスは今後、中期的に低下するとみています。

当ファンドでは、株式市場の先行きに対する不確実性の高まりに鑑み、引き続きキャッシュ比率を一定程度高めたポートフォリオ運用を行う方針です。その一方で株式部分の構築に関しては、世界のメガトレンド（中長期的な構造変化）に着目し、その恩恵を受けて高い利益成長の持続が見込まれる銘柄への厳選投資を継続し、市場上昇への追隨を図る方針です。

1万円当りの費用の明細

項 目	第3期		項 目 の 概 要
	(2021.4.2～2022.4.1)		
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	112円	0.825%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,596円です。
(投信会社)	(107)	(0.785)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(1)	(0.011)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(4)	(0.029)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	－	－	
(c) 売買委託手数料	6	0.045	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(6)	(0.045)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	2	0.014	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(－)	(－)	
合 計	120	0.884	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万円当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況

(2021年4月2日から2022年4月1日まで)

投資信託受益証券

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	1,154,483	1,560,000	6,934,309	9,516,620

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年4月2日から2022年4月1日まで)

項 目	当 期
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	32,617,070千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	40,289,169千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	0.80

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(2022年4月1日現在)

	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	32,430,995	26,651,168	38,020,557

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2022年4月1日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	38,020,557	99.5
コール・ローン等、その他	203,012	0.5
投資信託財産総額	38,223,569	100.0

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、4月1日における邦貨換算レートは、1米ドル=122.20円、1スイスフラン=132.21円、1英ポンド=160.60円、1ユーロ=135.24円です。

(注3) アンカーMFGグローバル株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (41,323,470千円) の投資信託財産総額 (41,454,182千円) に対する比率は99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年4月1日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	38,223,569,145円
コール・ローン等	11,499
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド (評価額)	38,020,557,646
未収入金	203,000,000
(B) 負債	278,967,275
未払解約金	203,000,000
未払信託報酬	75,417,275
その他未払費用	550,000
(C) 純資産総額(A－B)	37,944,601,870
元本	27,282,168,970
次期繰越損益金	10,662,432,900
(D) 受益権総口数	27,282,168,970口
1万口当り基準価額(C／D)	13,908円

* 期首における元本額32,933,545,437円、当期中における追加設定元本額1,178,394,040円、同解約額6,829,770,507円

* 当期末の計算口数当りの純資産総額は1.3908円です。

■損益の状況

当期 (自2021年4月2日 至2022年4月1日)

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	3,829,601,895円
売買益	4,364,021,406
売買損	△ 534,419,511
(B) 信託報酬等	△ 342,485,594
(C) 当期損益金(A＋B)	3,487,116,301
(D) 前期繰越損益金	4,178,371,332
(E) 追加信託差損益金	2,996,945,267
(配当等相当額)	(244,711,111)
(売買損益相当額)	(2,752,234,156)
(F) 合計(C＋D＋E)	10,662,432,900
次期繰越損益金(F)	10,662,432,900
追加信託差損益金	2,996,945,267
(配当等相当額)	(246,664,874)
(売買損益相当額)	(2,750,280,393)
分配準備積立金	7,665,487,633

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 分配金の計算過程
 計算期間末に、費用控除後の配当等収益額392,501,630円 (1万口当り143.87円)、有価証券売買等損益3,094,614,671円 (1万口当り1,134.30円)、収益調整金額2,996,945,267円 (1万口当り1,098.50円) 及び、分配準備積立金4,178,371,332円 (1万口当り1,531.54円) から分配対象収益額は10,662,432,900円 (1万口当り3,908円) となりますが、分配を行いませんでした。

<補足情報>

当ファンド（アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用））が投資対象としている「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の決算日（2021年7月1日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2022年4月1日）現在におけるアンカーMFGグローバル株式マザーファンドの組入資産の内容を掲載いたしました。

■組入資産明細表

下記は、2022年4月1日現在におけるアンカーMFGグローバル株式マザーファンド（28,879,149千口）の内容です。

(2022年4月1日現在)

(1) 外国株式

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	外貨建金額 邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
AMAZON.COM INC	-	30	9,991	1,220,991	小売
YUM! BRANDS INC	1,422	1,118	13,253	1,619,612	消費者サービス
ESTEE LAUDER CO-CL A	251	-	-	-	家庭用品・パーソナル用品
LOWES COS INC	-	379	7,664	936,566	小売
MCDONALDS CORP	424	528	13,071	1,597,303	消費者サービス
MICROSOFT CORP	1,237	900	27,755	3,391,697	ソフトウェア・サービス
XCEL ENERGY INC	2,132	624	4,508	550,898	公益事業
PEPSICO INC	1,163	965	16,157	1,974,388	食品・飲料・タバコ
PROCTER AND GAMBLE CO/THE	-	762	11,648	1,423,416	家庭用品・パーソナル用品
US BANCORP	-	1,481	7,874	962,288	銀行
STARBUCKS CORP	2,035	1,190	10,826	1,323,034	消費者サービス
NETFLIX INC	334	263	9,856	1,204,429	メディア・娯楽
MASTERCARD INC - A	400	450	16,085	1,965,669	ソフトウェア・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	840	855	18,979	2,319,351	ソフトウェア・サービス
HCA HEALTHCARE INC	-	118	2,962	362,057	ヘルスケア・サービス
META PLATFORMS INC-CLASS A	-	379	8,449	1,032,496	メディア・娯楽
FACEBOOK INC-CLASS A	788	-	-	-	メディア・娯楽
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	1,444	1,066	14,089	1,721,725	各種金融
ALIBABA GRP HLDG-SP ADR	902	-	-	-	小売
EVERSOURCE ENERGY	1,544	499	4,404	538,248	公益事業
ALPHABET INC-CL A	17	14	4,044	494,186	メディア・娯楽
ALPHABET INC-CL C	115	65	18,397	2,248,165	メディア・娯楽
WEC ENERGY GRP INC	1,450	488	4,870	595,227	公益事業
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	12,182 17銘柄	224,891 20銘柄	27,481,756 <66.7%>	
(イギリス)	百株	百株	千英ポンド	千円	
DIAGEO PLC	-	2,251	8,697	1,396,764	食品・飲料・タバコ
LLOYDS BANKING GROUP PLC	-	50,134	2,359	378,868	銀行
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	1,884	1,574	9,183	1,474,884	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,884 3銘柄	53,960 3銘柄	3,250,517 <7.9%>	
(スイス)	百株	百株	千スイスフラン	千円	
NOVARTIS AG-REG	1,777	1,478	12,009	1,587,762	医薬・医療機器・バイオ
NESTLE SA-REG	1,168	970	11,671	1,543,030	食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,945 2銘柄	2,449 2銘柄	23,680 <7.6%>	
(ドイツ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
SAP SE	1,318	855	8,652	1,170,100	ソフトウェア・サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,318 1銘柄	855 1銘柄	8,652 <2.8%>	

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	外貨建金額 邦貨換算金額	
(スペイン)	百株	百株	千ユーロ	千円	
AMADEUS IT GRP SA	-	807	4,779	646,378	ソフトウェア・サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	- 1銘柄	807 1銘柄	4,779 646,378	<1.6%>
(フランス)	百株	百株	千ユーロ	千円	
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	89	-	-	-	耐久消費財・アパレル
SAFRAN SA	-	411	4,414	597,031	資本財
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	89 1銘柄	411 1銘柄	4,414 597,031	<1.4%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,407 2銘柄	2,074 3銘柄	17,846 2,413,510	<5.9%>
(香港)	百株	百株	千香港ドル	千円	
TENCENT HLDG LTD	2,567	-	-	-	メディア・娯楽
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,567 1銘柄	- -	- -	<-%>
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	25,312 23銘柄	70,666 28銘柄	36,276,577 <88.1%>	

- (注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
- (注2) < >は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
- (注3) 単位未満は切捨て。
- (注4) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(2) 投資証券

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	口 数	口 数	評 価 額	外貨建金額 邦貨換算金額	
(アメリカ)	千口	千口	千米ドル	千円	
CROWN CASTLE INTL CORP	88	64	11,898	1,453,938	不動産
合 計	金 額 銘柄数<比率>	88 1銘柄	64 1銘柄	11,898 1,453,938	<3.5%>

- (注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
- (注2) < >は純資産総額に対する各国別投資信託受益証券、投資証券評価額の比率。
- (注3) 単位未満は切捨て。
- (注4) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。
運用方法	1. 徹底したリサーチを通じて選別した持続的な優位性を持つ高クオリティ企業の株式等に中長期に投資することで、一つの経済サイクルを通して年率10%以上のリターン獲得を目指します。 2. ポートフォリオの市場感応度を一定程度以下に調節することで値下りリスクの抑制に努めます。 3. ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対する集中投資を行います。投資銘柄数は、原則として20銘柄以上、40銘柄以下とします。 4. 投資対象とする株式等は、取得時において、原則として時価総額250億米ドル以上の銘柄とします。ただし、原則として原油や天然資源などの商品市況に影響される銘柄は除きます。 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 6. 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 7. マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	1. 株式等への投資割合には制限を設けません。 2. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 新興国企業が発行する株式への投資割合は、原則として20%以内とします。 4. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する投資割合は、原則として30%以内とします。 5. ポートフォリオでの投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の投資割合は、原則として40%以内とします。 6. キャッシュ保有比率は、原則として20%以内とします。 7. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 8. デリバティブ取引は、原則として行いません。

アンカーMFGグローバル 株式マザーファンド

運用報告書

第3期（決算日 2021年7月1日）

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」は、去る2021年7月1日に第3期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



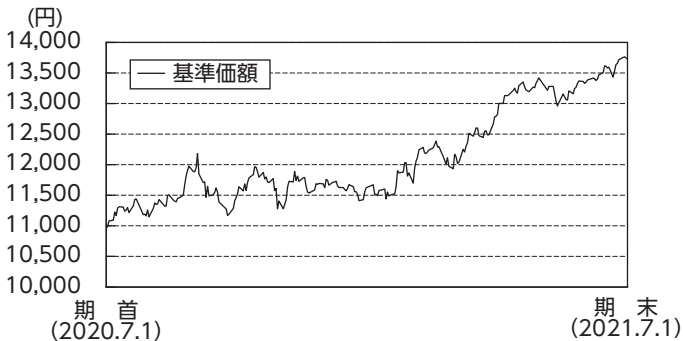
運用報告書に関するお問い合わせ先
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社
業務部
〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10
アークヒルズ仙石山森タワー
電話番号：03-5575-5780
受付時間：営業日の午前9時～午後5時
ホームページ：www.northerntrust.jp/

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総 額
		期 中 騰落率		期 中 騰落率			
(設 定 日) (2019年4月18日)	円	%	10,000	%	%	%	百万円 746
1期 (2019年7月1日)	10,166	1.7	9,805	△1.9	88.7	3.1	5,709
2期 (2020年7月1日)	10,959	7.8	10,069	2.7	77.1	3.8	13,833
3期 (2021年7月1日)	13,728	25.3	14,507	44.1	90.4	3.5	46,328

(注) 参考指数としてMSCIコクサイ・インデックス(税引後配当込み、円ベース、2019年4月18日を10,000とする。)を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

■当期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2020年7月1日	円	%		%	%	%
	10,959	—	10,069	—	77.1	3.8
7月末	11,148	1.7	10,227	1.6	78.5	3.7
8月末	11,888	8.5	11,025	9.5	83.6	3.5
9月末	11,457	4.5	10,589	5.2	84.3	3.6
10月末	11,407	4.1	10,292	2.2	84.7	3.5
11月末	11,686	6.6	11,481	14.0	87.0	3.6
12月末	11,623	6.1	11,810	17.3	88.5	3.5
2021年1月末	11,865	8.3	12,062	19.8	89.5	3.5
2月末	11,975	9.3	12,491	24.1	90.9	3.6
3月末	12,792	16.7	13,290	32.0	90.3	3.7
4月末	13,419	22.4	13,913	38.2	90.9	3.9
5月末	13,361	21.9	14,117	40.2	91.3	4.0
6月末	13,744	25.4	14,470	43.7	90.4	3.5
(期 末) 2021年7月1日	13,728	25.3	14,507	44.1	90.4	3.5

(注) 騰落率は期首比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,959円 期末：13,728円 騰落率：+25.3%

【基準価額の主な変動要因】

株式がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。主として、コミュニケーション・サービス（アルファベットやフェイスブック（現メタ・プラットフォームズ）など）や一般消費財・サービス（スターバックスなど）での組入銘柄の株価が上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○世界株式市場

当期の先進国株式市場は、期首と比べて大幅に上昇しました。期初、コロナ禍で米連邦準備制度理事会（F R B）による本格的な金融・財政政策が開始されるなか、経済活動再開やワクチン開発・実用化への期待、米経済指標の改善などを背景に、続伸する展開となりました。その後一時、ハイテク銘柄での利益確定の動き等から頭の重い地合いとなりましたが、11月上旬、米大統領選での民主党バイデン候補の勝利や、新型コロナワクチンの早期実用化観測の強まりから急反発するなど、再度上昇基調を強めました。その後期末にかけても、ワクチン接種の開始や進展に伴う経済正常化期待、米バイデン政権下での大型経済対策期待などが、相場上昇を後押ししました。

コミュニケーション・サービスセクターでは、動画配信サービス「ユーチューブ」を通じた広告が収益の柱に育つなど好調な主力のネット広告事業がけん引し、四半期純利益の過去最高更新が相次いだアルファベットの株価が大幅に上昇しました。また、フェイスブック（現メタ・プラットフォームズ）も、主力のネット広告への高い需要が続く中、広告単価・件数が増加し、増収増益となったことなどが好感され、株価が上昇しました。一般消費財・サービスセクターでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で来店客数が減少する中、売上高の減少率が市場の予想より小幅となるなど業績の底打ち感が強まったスターバックスの株価が上昇しました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、期首と比べて円安米ドル高となりました。期初から2021年年明けにかけては、新型コロナウイルス感染拡大第2波への警戒感、パウエルF R B議長によるゼロ金利政策維持発言や追加金融緩和観測の浮上などを背景に、概ね円高ドル安基調で推移しました。年明け以降期末にかけては、ワクチン接種の進展に伴う経済正常化期待や米バイデン新政権下での大型経済対策期待、米国金利の上昇や金融引き締め観測の強まりなどを背景に、米ドルが大幅続伸しました。

◆前期における「今後の運用方針」

新型コロナウイルスの感染封じ込めの決め手となるワクチンや治療薬は開発途上で感染第2波のリスクが残っており、各国政府は経済活動と感染再拡大リスクとのバランスを模索している中、景気見通しの不透明性は依然高いと考えられます。今後の景気シナリオは、U字型の景気回復、または景気減速の長期化の可能性があると考えていますが、現段階ではどちらが有力か判断することは難しいと考えています。新型コロナウイルスをめぐる状況を踏まえ、株式市場の先行き不透明感は強いままであると判断し、資産の保全に配慮した運用を続けます。中長期的な保有銘柄の持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）に対する見方に変更はありません。

◆ポートフォリオについて

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。期初、景気・市場見通しにおける不透明性から資産の保全に配慮し、保有するキャッシュの比率を高めとしましたが、新型コロナワクチンの開発進展や米バイデン政権の政策を踏まえ、景気・市場見通しの不透明性が低下していると見て、投資機会を見極めながら、キャッシュ保有比率を引き下げ、株式保有比率を高めました。株式組入銘柄では、コロナ禍の社会変化が追い風となる銘柄の新規組入や保有比率を引き上げると同時に、生活に不可欠なサービス・商品を提供し下値に強いディフェンシブ銘柄の保有比率を引き上げました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。参考指数は先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

基準価額と参考指数の騰落率は、それぞれ+25.3%、+44.1%となりました。

《今後の運用方針》

引き続き、ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオ構築を行います。景気・市場見通しの不透明性は低下していると見て、保有するキャッシュ比率を従来より低位とする方針です。ただし、新型コロナ変異種の拡大、市場の過熱感から、資産保全への一定の配慮を継続します。中長期的な保有銘柄の持続可能な競争優位性に対する見方に変更はありません。保有銘柄の多くは、テクノロジー・プラットフォームの拡大、キャッシュレス社会への移行、新興国での消費拡大、生活に必要不可欠なサービス・商品への底堅い需要、高齢化する人口動態などから恩恵を受けると考えられます。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資証券)	4円 (4) (0)
(b) 有価証券取引税	－
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (－)
合 計	6

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって
受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■ 売買及び取引の状況

(2020年7月2日から2021年7月1日まで)

(1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
アメリカ		百株	千米ドル	百株	千米ドル
		13,519	214,694	2,436	44,541
スイス		百株	千スイスフラン	百株	千スイスフラン
		2,027	18,342	142	1,284
イギリス		百株	千英ポンド	百株	千英ポンド
		1,321	9,662	119	791
香港		百株	千香港ドル	百株	千香港ドル
		2,363	129,322	1,131	71,350
ユーロ	ドイツ	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
		1,055	12,348	125	1,580
	フランス	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
		70	3,196	4	292
ユーロ 通貨計		百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
		1,125	15,545	130	1,872

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アメリカ	千口	千米ドル	千口	千米ドル
	60	10,039	15	2,962

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合
(2020年7月2日から2021年7月1日まで)

項 目	当 期
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	36,136,034千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	33,329,102千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	1.08

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

(2020年7月2日から2021年7月1日まで)

(1) 株式

当				期					
買		付		売		付			
銘	柄	株 数	金 額	平均単価	銘	柄	株 数	金 額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
NETFLIX INC		39	2,131,916	53,851	ESTEE LAUDER CO-CL A		30	980,915	31,725
ALIBABA GRP HLDG-SP ADR		68	1,925,413	27,938	TENCENT HLDG LTD		113	971,573	8,584
MICROSOFT CORP		81	1,818,132	22,320	ALPHABET INC-CL C		3	853,598	237,572
TENCENT HLDG LTD		236	1,751,286	7,409	ALIBABA GRP HLDG-SP ADR		19	466,123	24,172
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN		148	1,651,296	11,120	XCEL ENERGY INC		48	378,626	7,760
SAP SE		105	1,555,329	14,732	WEC ENERGY GRP INC		31	332,433	10,412
META PLATFORMS INC-CLASS A		52	1,459,879	27,555	EVERSOURCE ENERGY		35	330,136	9,228
ALPHABET INC-CL C		8	1,428,451	165,579	MICROSOFT CORP		10	281,616	26,148
PEPSICO INC		96	1,414,245	14,633	META PLATFORMS INC-CLASS A		8	253,205	31,438
VISA INC-CLASS A SHARES		63	1,362,854	21,408	STARBUCKS CORP		20	232,660	11,412

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

当				期					
買		付		売		付			
銘	柄	口 数	金 額	平均単価	銘	柄	口 数	金 額	平均単価
		千口	千円	円			千口	千円	円
CROWN CASTLE INTL CORP		60	1,053,716	17,279	CROWN CASTLE INTL CORP		15	326,064	21,162

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産の明細

(2021年7月1日現在)

(1) 外国株式

銘柄		前期末	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
YUM! BRANDS INC		398	1,463	16,832	1,869,761	消費者サービス
ESTEE LAUDER CO-CL A		118	-	-	-	家庭用品・パーソナル用品
MCDONALDS CORP		141	501	11,591	1,287,562	消費者サービス
MICROSOFT CORP		491	1,198	32,467	3,606,474	ソフトウェア・サービス
XCEL ENERGY INC		709	1,662	10,950	1,216,389	公益事業
PEPSICO INC		214	1,125	16,669	1,851,655	食品・飲料・タバコ
PROCTER AND GAMBLE CO/THE		-	888	11,985	1,331,356	家庭用品・パーソナル用品
STARBUCKS CORP		714	1,980	22,145	2,459,938	消費者サービス
NETFLIX INC		-	380	20,077	2,230,182	メディア・娯楽
MASTERCARD INC - A		108	390	14,262	1,584,330	ソフトウェア・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES		242	814	19,046	2,115,712	ソフトウェア・サービス
META PLATFORMS INC-CLASS A		-	761	26,481	2,941,614	メディア・娯楽
FACEBOOK INC-CLASS A		312	-	-	-	メディア・娯楽
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN		-	1,401	16,633	1,847,641	各種金融
ALIBABA GRP HLDG-SP ADR		379	876	19,867	2,206,858	小売
EVERSOURCE ENERGY		512	1,203	9,658	1,072,820	公益事業
ALPHABET INC-CL A		6	16	4,111	456,758	メディア・娯楽
ALPHABET INC-CL C		46	96	24,185	2,686,579	メディア・娯楽
WEC ENERGY GRP INC		412	1,130	10,059	1,117,403	公益事業
小 計	株数・金額	4,808	15,892	287,027	31,883,040	
	銘柄数<比率>	15銘柄	17銘柄	-	<68.8%>	
(スイス)		百株	百株	千スイスフラン	千円	
NOVARTIS AG-REG		590	1,730	14,588	1,750,594	医薬・バイオ/バイオ・デバイス
NESTLE SA-REG		388	1,134	13,070	1,568,439	食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額	979	2,864	27,658	3,319,033	
	銘柄数<比率>	2銘柄	2銘柄	-	<7.2%>	
(ドイツ)		百株	百株	千ユーロ	千円	
SAP SE		342	1,272	15,118	1,989,486	ソフトウェア・サービス
小 計	株数・金額	342	1,272	15,118	1,989,486	
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	-	<4.3%>	
(フランス)		百株	百株	千ユーロ	千円	
LVHM MOET HENNESSY LOUIS VUI		31	96	6,393	841,313	耐久消費財・アパレル
小 計	株数・金額	31	96	6,393	841,313	
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	-	<1.8%>	
ユーロ計		373	1,368	21,512	2,830,800	
		2銘柄	2銘柄	-	<6.1%>	
(香港)		百株	百株	千香港ドル	千円	
TENCENT HLDG LTD		1,243	2,475	144,545	2,068,442	メディア・娯楽
小 計	株数・金額	1,243	2,475	144,545	2,068,442	
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	-	<4.5%>	

銘柄		前期末		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(イギリス)		百株	百株	千英ポンド	千円	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC		624	1,827	11,689	1,794,054	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株 数 ・ 金 額	624	1,827	11,689	1,794,054	
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	-	<3.9%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	8,029	24,427	-	41,895,370	
	銘柄数<比率>	21銘柄	23銘柄	-	<90.4%>	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
(注2) < >は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
(注3) 単位未満は切捨て。
(注4) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(2) 投資証券

銘柄	柄	前期末	当 期 末		業 種 等
		口 数	口 数	評 価 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		千口	千口	千米ドル	千円
CROWN CASTLE INTL CORP		29	74	14,600	1,621,823
				14,600	1,621,823
合 計	金 額	29	74		
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	-	<3.5%>

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
(注2) < >は純資産総額に対する各国別投資信託受益証券、投資証券評価額の比率。
(注3) 単位未満は切捨て。
(注4) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

■投資信託財産の構成

(2021年7月1日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	41,895,370	90.4
投資証券	1,621,823	3.5
コール・ローン等、その他	2,811,391	6.1
投資信託財産総額	46,328,584	100.0

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、7月1日における邦貨換算レートは、1米ドル=111.08円、1スイスフラン=120.00円、1英ポンド=153.48円、1香港ドル=14.31円、1ユーロ=131.59円です。

(注3) 当期末における外貨建資産（46,241,290千円）の投資信託財産総額（46,328,584千円）に対する比率は、99.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年7月1日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	46,328,584,359円
コール・ローン等	2,803,554,675
株式（評価額）	41,895,370,874
投資証券（評価額）	1,621,823,939
未収配当金	7,834,871
(B) 純資産総額(A)	46,328,584,359
元本	33,746,684,137
次期繰越損益金	12,581,900,222
(C) 受益権総口数	33,746,684,137口
1万口当り基準価額(B／C)	13,728円

* 期首における元本額12,623,348,031円、当期中における追加設定元本額23,750,542,176円、同解約額2,627,206,070円

* 当期末における当マザーファンドを対象とする投資信託元本額は、アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）31,245,414,534円、アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）494,151,914円、アンカーMFGグローバル株式ファンド（分配型）（適格機関投資家専用）2,007,117,689円、アンカーMFGグローバル株式ファンド（非課税適格機関投資家専用）6,922,924,313円

* 当期末の計算口数当りの純資産総額は1.3728円です。

■損益の状況

当期（自2020年7月2日 至2021年7月1日）

項 目	当 期
(A) 配当等収益	440,914,717円
受取配当金	440,918,741
受取利息	△ 4,024
(B) 有価証券売買損益	7,991,752,980
売買益	8,800,619,132
売買損	△ 808,866,152
(C) 信託報酬等	△ 6,095,654
(D) 当期損益金(A + B + C)	8,426,572,043
(E) 前期繰越損益金	1,209,982,275
(F) 追加信託差損益金	3,714,434,352
(G) 解約差損益金	△ 769,088,448
(H) 合計(D + E + F + G)	12,581,900,222
次期繰越損益金(H)	12,581,900,222

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。